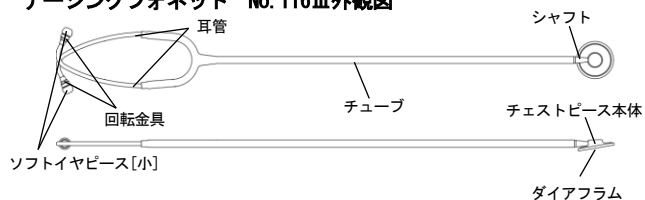


## □製品仕様

本器（製品）は聴診に使用する機械式聴診器です。

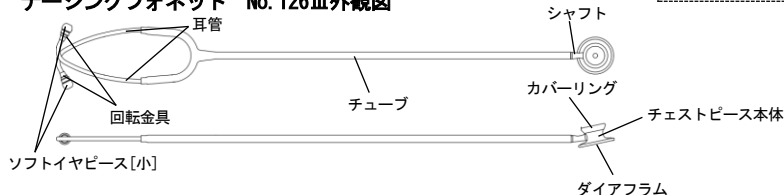
【外観・名称及び構成】

ナーシングフォネット No.116Ⅲ外観図



付属品一覧	
取扱説明書	
保証書	
スペアセット	
ソフトイヤピース[大]	《2個》
ネームタグ シングルチューブ用	
ネームタグ用シール	
ネームタグ セット方法（取説）	

ナーシングフォネット No.126Ⅲ外観図



【仕様】

製品名		ナーシングフォネットNo.116Ⅲ	ナーシングフォネットNo.126Ⅲ	
寸法	全長	約 730 mm		
	重量	約 90 g	約 100 g	
	ダイアフラム面外径	φ 48 mm		
	ベル面外径		φ 34 mm	
材質	標準	チェストピース本体	アルミニウム（抗菌加工）	
		シャフト	真鍮【クロムメッキ】	
	準	リング	ポリエステル（抗菌加工）	
		ダイアフラム	ガラスエポキシ（抗菌加工）	
		カバーリング	シリコンゴム（抗菌加工）	
	装着品	耳管	真鍮【クロムメッキ】	
		チューブ	PVC	
		ソフトイヤピース[小]	シリコンゴム	
		回転金具	ポリアセタール	
	付属品	ネームタグ	ポリプロピレン	
ソフトイヤピース[大]		シリコンゴム		
製造販売届出番号		11B2X0002116201	11B2X00021126201	

■抗菌とは、細菌の増殖を抑制する効果を指し、時間経過に伴い菌数を減ずるものです。

製造販売業者

**ケンツメディコ株式会社**

本社 〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄 552 番地 1  
 TEL 0495-71-1001 FAX 0495-72-6716  
 E-MAIL: eigyo@kenzmedico.co.jp  
 http://www.kenzmedico.co.jp



ケンツメディコ  
ホームページ

2022.03.15 1126H201



*Nursingphonette*

ナーシングフォネット No.116Ⅲ、No.126Ⅲ  
取扱説明書

## □安全のためのお願い

■次の禁止事項をよくお読みいただき、本器を正しくご使用下さい。



1. 本品は聴診専用ですので、生体音以外の音を聴かないでください。
2. 絶対に分解、改造しないでください。〔故障等の原因となります。〕
3. イヤピースが耳管に装着されていない場合は、使用しないでください。  
〔耳管の金属部分で耳を傷つけるおそれがあります。〕
4. 本品を振り回さないでください。  
〔物的損傷及び人に傷害を加えたりするおそれがあります。〕

■ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用ください。  
 その後は大切に保管し、必要なとき再読してください。

 **KENZMEDICO**

## □ご使用にあたって

1. 本器を使用する際には、取扱い、操作方法を熟知してからご使用ください。
2. 保管についての留意点
  - \* 水のかかる所、直射日光の当たる所、ほこりの多い所、湿度の高い所、極端に高温や低温になる所、衝撃・振動を受ける所、化学薬品の保管場所やガスの発生する所は避けてください。
  - \* チューブを折り曲げたまま長時間放置しないでください。チューブの寿命が短くなります。
  - \* チューブは皮脂等の影響で硬化が促進されます。保管条件によっては1年程度のご使用でチューブが硬くなることがありますので、ご使用後は付着物をよく拭き取ってください。
3. 使用前、使用中の留意点
  - \* 本器は聴診以外の目的に使用しないでください。
  - \* 精密加工された部品で構成されていますので、急激な温度変化のある所、極端に高温や低温になる所、湿度の高い所、直射日光の当たる所、ほこりの多い所は避けてご使用ください。
  - \* 耳管を無理に広げたり、握りつぶしたりしないでください。耳管バネが折れる原因になります。
  - \* 耳管バネが折れた場合、聴診上の不都合が生じたり、人体に傷害を加えるおそれがありますので使用を中止してください。
  - \* 本器を落とす等して衝撃を加えないでください。
4. 故障したときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 専用部品以外は取付けしないでください。
6. 汚れた時は、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた水にやわらかい布を浸し、よく絞ってから汚れを落とし、そのあと乾いた布でからぶきしてください。
7. ご使用后、耳管を外す際は、イヤピースが外れないよう気をつけてください。

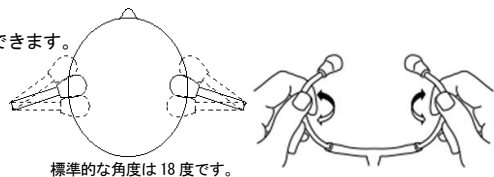
## □ご使用上の注意

1. チェストピース（ダイアフラム面）を叩くなど衝撃を加えないでください。ダイアフラムを傷めたり、耳管を装着している場合は耳に障害をきたすおそれがあります。
2. 性能を十分に活用するために各部品の取付けが緩んでいないことを確認してください。緩んでいる場合は確実に装着してください。
3. ダイアフラム、リング、イヤピース等に傷がある場合は使用しないでください。皮膚を傷つけるおそれがあります。
4. 耳管、チューブ、チェストピースの音道の中に異物が入らないよう留意してください。故障の原因になります。

## □ご使用方法

### 【耳管の調整方法】

図のように耳管は角度調節ができます。  
イヤピースの穴を耳肌で塞がないように耳孔の方向に合うように調節してください。



標準的な角度は18度です。

【動画】  
耳管の角度調節

### 【耳管の装着方法】

右図のように耳管は左右同時に広げて装着してください。耳管バネなどに余計な負担が加わりません。

前方に引くようにして外すことはおやめください。  
イヤピースが脱落又は破損したり、耳肌を擦って傷つけるなどのおそれがあります。



### 【聴診面の切換え】(No. 126Ⅲのみ)

シャフトを回転させて聴診面の上下を切換えることができます。

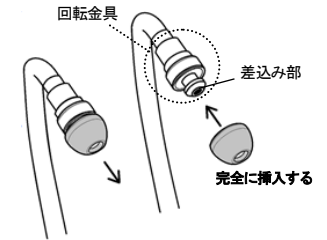


## □パーツの交換方法

### 【ソフトイヤピースの着脱方法】

ソフトイヤピースを交換する時は回転金具の差込み部に奥まで完全に挿入してください。

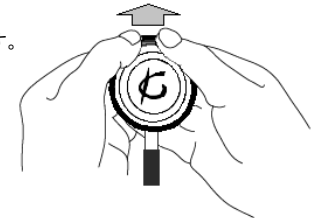
※挿入が不完全だと使用中に脱落するおそれがあります。



### 【リングの取り外し方法】

チェストピース本体をしっかり押えながら樹脂リングを押し出すようにして外します。

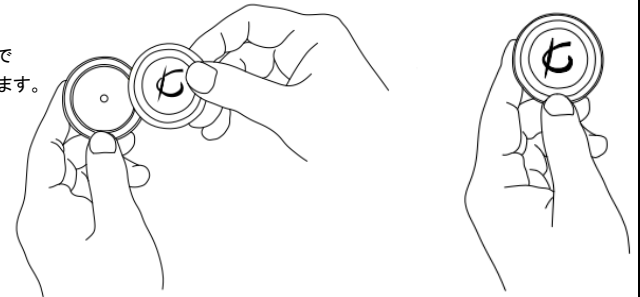
※外す時にダイアフラムが破損しないように注意してください。



### 【リングとダイアフラムの取り付け方法】

ダイアフラムを印刷文字が読める正しい向きでチェストピース本体裏面のくぼみにセットします。

※逆向きにセットすると印刷面が外側になり、擦れてインク剥がれを起こします。



チェストピース本体の外周凸部に樹脂リング凹部の一箇所を指で軽く押し込み、そこを始点にしてリングを手前に軽く引張りながら左右に少しずつ指をスライドさせてはめ込んでいきます。

最後はリングを引き伸ばすようにしながらチェストピース本体の凸部に乗せるように引っ掛けると取り付けられます。

※リングは平面部分が若干広い方がダイアフラム側になります。

